

6/8(土)~16(日)

ハーブフェスティバルを開催します

今の時期、お勧めのハーブはラベンダーです。
 澄んだ青空に、濃い紫の穂が風に揺られ、心地よい香りがほのかに広がります。ハーブ館工房では、ハーブの香りを使った楽しい体験を、レストランでは、通常のカレーやシラス・桜えびを使ったメニューのほか、テイクアウトメニューもご用意しています。
 子どもの館では、6月9日(日)に和太鼓の演奏や人形劇、紙芝居、15日(土)には万華鏡作りなどの楽しい催しを企画しています。
 期間中、JR松田駅、開成あじさい祭会場とのシャトルバスを運行します。
 ぜひ、この時期の足柄の花めぐりをお楽しみください。
 ※ふるさと鉄道の運行は、土日です(雨天は中止になります)
 【問い合わせ】松田山ハーブガーデン ☎(85)1177 環境経済課 ☎(83)1228



カメラレポート

松田山にもこいのぼり



寄の若葉まつりで中津川上空に並んだこいのぼりの大群とは別に、松田山でも7匹のこいのぼりが薫風を受けながら気持ちよさそうに泳いでいました。



若葉まつり

こどもの日の5月5日(日)、第36回寄自然休養村若葉まつりが晴天のなか開催されました。当日は初夏の陽気で、多くの家族でにぎわいました。子どもたちは半袖で、元気よくマスのつかみ取りに挑戦していました。

こいのぼり提供にご協力ありがとうございました

広報で募集しましたこいのぼりは、町民の皆さまから90匹のご提供をいただきました。写真は皆さまのさまざまな思い出の詰まったこいのぼりが、若葉まつりで大空を泳いだ様子です。ご協力ありがとうございました。



地域包括支援センターへ車いす贈呈



車いす贈呈に訪れた朝日生命湘南支社社長の鈴木英吉氏(右)

4月26日(金)、朝日生命保険相互会社より松田町地域包括支援センターへ車いすが1台贈呈されました。同社は、朝日生命創業125周年「生きるを支えるプロジェクト」の一環として全国の介護施設などを対象に車いす600台を寄贈しています。

小山町から寄「ホタルの里」へ視察団

静岡県小山町から込山正秀町長と昨年度設立されたばかりの「小山町ホタルの里づくり推進協議会」(高杉彰雄会長)の会員20人が5月2日(木)、ホタルの里づくりの先進地である「寄自然休養村」を訪れ、中津川右岸・大寺橋下流に自然の地形を活かして造られたピオトープ(生物の生息空間)を視察しました。

寄では、昭和50年代に都市化とともに周辺から姿を消してしまったホタルを復活させようと、昭和61年に寄地区の有志で「ホタルを育てる会」が結成され、ホタル育成のための積極的な活動が進められています。同会の安藤彬会長らから、県の中津川護岸工事の際にはアシヤ水草が生える自然に近い護岸と堰堤に魚道を造るよう要望したこと、3カ所のピオトープができた経緯などが説明され、一行は熱心にメモを取っていました。



震災を忘れない

町体育協会の安藤彬会長(左)から寄附金を受ける石井副町長



陸前高田市へ寄附金

4月23日(火)に行われた第27回町民親睦ゴルフ大会の参加者から集められた募金が、町体育協会会長を通じて陸前高田市(50,000円)と町社会福祉協議会(63,018円)へ寄附されました。